

手作り蓄音機 SP レコードを聴く会

2022年5月5日 13:30-15:30

小笠原富雄

プログラム

第1部 邦楽

- ① 端唄 「梅にも春」 藤本二三吉 日本コロムビア 1934年
(明治30年-昭和51年) 浅草千束生れ、日本橋葎町で芸者。大正14年に「スト
トン節」など吹き込み。流行歌のほか新民謡、端唄も多く吹き込み。
江戸情緒と粋、古格と歯切れあふれる二三吉端唄の世界
- ② 端唄 「五月雨に」 市丸 日本ビクター 1935年
(明治39年-平成9年) 長野県松本生れ、19歳で上京清元・長唄・小唄の名取。
昭和6年ビクターからレコードデビュー。小唄勝太郎と人気を二分。

第2部 声楽曲

- ① ヴェルディ 「リゴレット」から「女心の歌」
エンリコ・カルーソー (テノール) 米 Victor 1908年
20世紀はじめの偉大なテナー(1873年-1921年)。初レコーディングは1902年
ミラノで英国のグラモフォン社によりなされ、その後ロンドンのロイヤル・オペラ
デビュー、翌1903年に米国メトロポリタン・オペラデビュー、1904年にはビクタ
ー・トーキング・マシン社に録音を開始した。
- ② イギリス民謡「南の風」 Blow The Wind Southerly
キャサリーン・フェリア (アルト) 英 Decca 1949年
深く豊かな声で英国で今でも愛されているコントラルト歌手(1912年-1953年)。
41歳で夭折したので約10年のキャリア。レコーディングは1944年からEMI、
1946年からはDeccaに録音した。
- ③ アリャビエフ 「ナイチンゲール」 The Russian Nightingale
リリー・ボンズ (ソプラノ) 英 HMV 1935年
フランス出身、アメリカで活躍したコロラトゥーラ・ソプラノ(1898年-1976年)。
アレクサンドル・アリャビエフは19世紀前半のロシアの作曲家。「夜鳴き鶯」は美
しい技巧で歌われる有名な歌曲。リストがピアノ曲に編曲した。
- ④ マスネ 「エレジー」 Elegie
フェオドール・シャリアピン (バス) 米 Victor 1931年
ロシア出身の偉大なバス歌手(1873年-1938年)。力強くかつ柔らかな美声で欧米
でも人気。1936年来日。「エレジー」はフランスのオペラ作曲家マスネの最も有名
な歌曲。センチメンタルな失恋の歌。
- ⑤ シューマン「楽しき農夫」 The Merry Peasant
- ⑥ ヘンデル「調子の良い鍛冶屋」 The Harmonious Blacksmith

マルコム・マッキカーン (バス)

英 Columbia 1933 年

オーストラリア出身英国で活躍したバス歌手 (1883 年-1945 年)。深くはっきりした響きの声。各原曲はシューマンのピアノ曲集「こどものためのアルバム」の中の 1 曲及びヘンデルの「ハープシコード組曲第 1 集」第 5 番の終曲「エアと変奏」

第3部 器楽曲

- ① サラサーテ「ツィゴイネルワイゼン」 Zigeunerweisen

ルッジョーロ・リッチ (ヴァイオリン) 独 Electrola 1933 年

スペインのヴァイオリニストサラサーテが 1878 年に作曲した管弦楽伴奏付きヴァイオリン曲。リッチはアメリカの技巧派ヴァイオリニスト (1918 年-2012 年)。10 歳でデビュー、1930 年代にベルリンで学ぶ。

- ② ポリアキン「カナリア」 Le canari

イボルカ・ツィルツァー (ヴァイオリン) 仏 Polydor 1929 年

ハンガリーの女性ヴァイオリニスト (1906-1971)。フーバイ、フレッシュに学ぶ。ポリアキンは 1861 年生れのロシアの作曲家、「カナリア」は技巧的なポルカ。

- ③ サラサーテ「序奏とタランテラ」 Introduction et Tarantelle

- ④ サラサーテ「アンダルシアのロマンス」 Romanza andaluza

エリカ・モリーニ (ヴァイオリン) 独 Electrola 1928 年

ウィーン生れの 20 世紀を代表する女性ヴァイオリニスト (1904 年-1995 年)。1921 年のニューヨークデビュー、後年米国に移住。はじめの曲は、哀愁を帯びた美しい序奏の後、イタリアの激しい舞曲、技巧的なタランテラが繰り広げられる。次の曲はアンダルシア地方の民族歌曲の旋律が 8 分の 6 拍子の伴奏にのってうたわれる。

第4部 ジャズ 他

- ① 「ばら色の人生」 La Vie en rose ルイ・アームストロング

- ② 「セシボン」 C'e si bon ルイ・アームストロング

サッチモの愛称で知られたアメリカのジャズトランペット奏者、作曲家、歌手 (1901 年-1971 年)。録音は 20 年代後半より OKeh レーベル、30 年代後半からは Decca と行った。2 曲とも蘭 Decca 盤。1950 年

- ③ 「火の接吻」 ディック・ミネ 日 テイチク 1949 年

徳島生れのジャズ歌手、演奏家。本名三根徳一 (1908 年-1991 年)。戦後も流行歌などでヒット多数、火の接吻は本人の訳詞。

(解説:塚田)